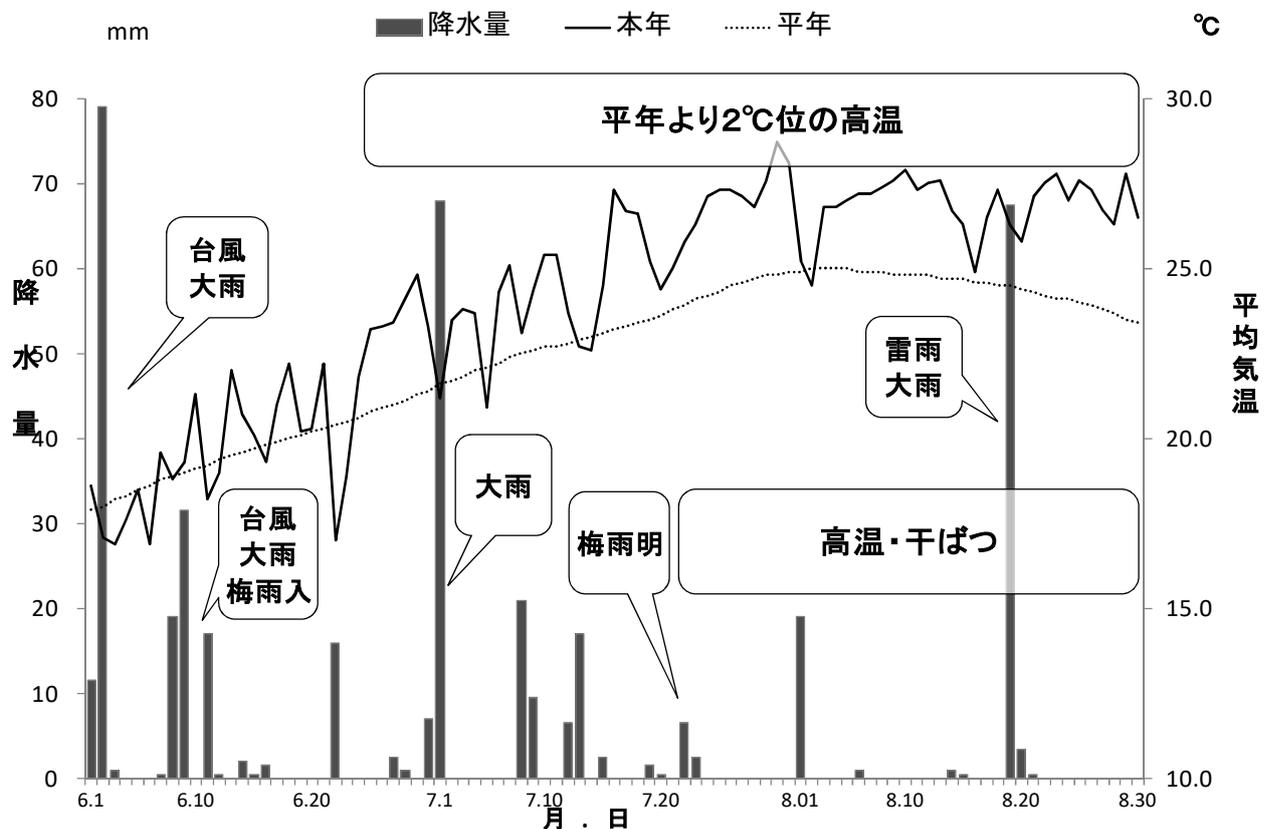


令和5年 作物技術普及情報 第14号

水稻の生育状況、収穫の注意点等について

1 気象状況

令和5年 気象経過(穂高アメダス 6月1日～8月30日)



平年より2°C位高い著しい高温が続いています。また降水量も少なく高温干ばつとなっています。

今後も晴れの日が多く、平年よりかなりの高温が予想されています。気象庁から「高温に関する早期天候情報」（8月31日付）が出されており、9月6日以降はかなりの高温が予想されています。

2 水稻の生育状況と収穫の注意点について

9月1日現在、現地（平坦地）の生育状況

- ・ 早生品種（あきたこまち、美山錦等）
5月前半植 : 収穫晩限
- ・ コシヒカリ
4月末～5月初旬植 : 収穫適期
5月上旬植 : 収穫直前～収穫適期
5月中旬植 : 登熟後期
5月下旬植 : 登熟中期

早生品種の収穫は8月20日頃から始まりましたが、収穫はやや遅れています。平坦地の早生品種は収穫適期を過ぎていますので、収穫を急ぐようにお願いします（特に美山錦・もちひかり）。

コシヒカリは、5月上旬までに田植された圃場の登熟がかなり早まっており、著しい高温で籾水分も25%以下に下がっている模様です。また穂の先端の籾では胴割れが散見されています。

収穫は開始されていますが、収穫を急ぐ必要のある圃場が増えていきます。

今年は刈り遅れると胴割れが多発する恐れがある危険な状況です。刈り遅れで胴割れになるよりは、青が少し多くても収穫を進めた方が品質は安定します（網目を上げて、色選を通して、胴割れは抜けません）。

刈り取り開始予測を参考に、籾の水分や帯緑色籾歩合を確認して田植えの早い圃場から早めに刈り取りを進めるようにお願いします。

台風等によるフェーン現象で異常高温・極端な乾燥条件になると止葉が急に枯れ上り、白未熟・胴割米や、充実不足による細身の発生が助長されます。

落水中の圃場が多いと思いますが、フェーンが予想される場合は落水中でも入水（走水）をお願いします。

3 水稻の刈り取り開始予測

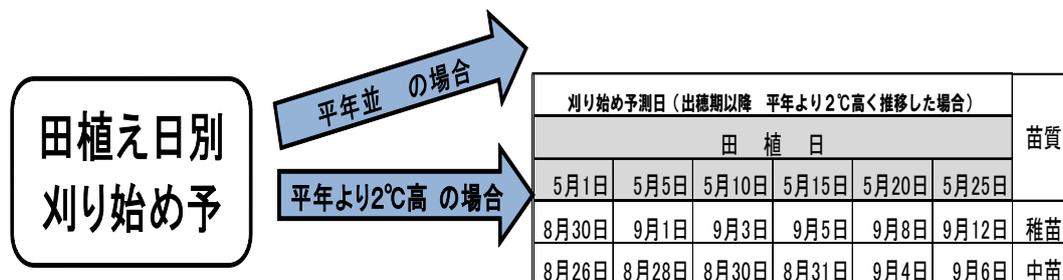
平坦地・5月初旬植・コシヒカリの刈り始めは8月末頃からと予測されます。

移植日別、標高別の詳細は「8月31日現在の水稻刈り始め予測（平年並み版、高温版）」をご覧ください（ホームページに掲載いたします）。

現在著しい高温が続いているため2℃高温版をご活用ください。

【表は豊科定点圃場：標高540mの推定値（8月31日現在）です】

コシヒカリ 標高550m	苗質	推定出穂期						刈り始め予測日（出穂期以降 平年並みの気温）						苗質
		田植日						田植日						
		5月1日	5月5日	5月10日	5月15日	5月20日	5月25日	5月1日	5月5日	5月10日	5月15日	5月20日	5月25日	
稚苗	7月28日	7月30日	7月31日	8月2日	8月5日	8月8日	9月1日	9月4日	9月5日	9月7日	9月11日	9月15日	稚苗	
中苗	7月24日	7月26日	7月28日	7月29日	8月1日	8月3日	8月27日	8月30日	9月1日	9月2日	9月6日	9月9日	中苗	



4 大豆の管理

8月18～19日等の大雨で葉の反転等の干ばつ症状は一端解消されています。しかし今後もゲリラ豪雨以外にまとまった雨が期待できないと考えられます。

水稻の収穫作業で極めて忙しい時期ですが、大豆の葉のしおれが目立つ場合は、必ず灌水を実施するようにお願いします（著しい干ばつによる減収・小粒化を避けるため）。

灌水にあたっての注意事項は、技術情報12号をご覧ください。